

か

～ 我が国の食料供給基地 ～

ごしまの農業農村

いからじま

国土強靱化

伊唐島地区

農地開発による経営規模拡大
と架橋による流通経路の確保

ながしま
【長島町】

2

めまるしちいけ

国土強靱化

目丸下池地区

農業用ため池の整備による被害
防止及び農業用水源機能回復

いさ
【伊佐市】

3

おきのえらぶ

食料安全保障

沖永良部地区

基盤整備を契機とした農地集積
と高収益作物の生産拡大

おおしま わどまり ちな
【大島郡和泊町, 知名町】

4

食料安全保障

のいくらしたんだん

野井倉下段地区

基盤整備を契機とした農地集積の進展と営農形態の向上

しぶし
【志布志市】

1

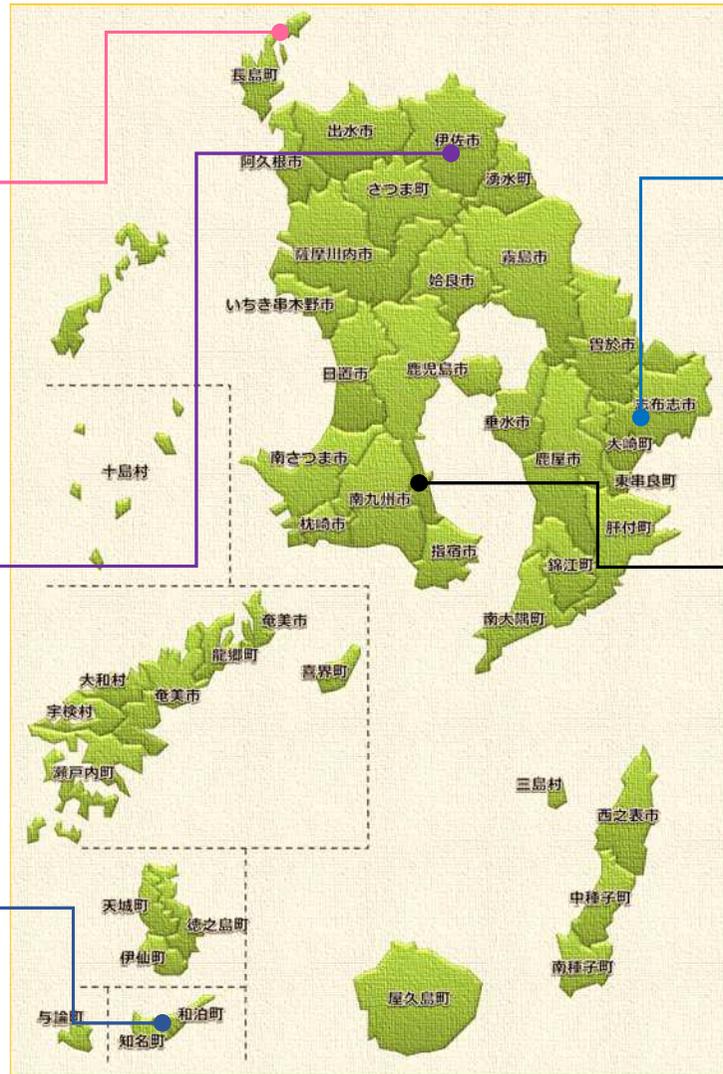
多面的機能支払

まえのはま水・土・里保存会

地域・官・民の連携で組織の
持続性を確保

かごしま
【鹿児島市】

5



南の宝箱 鹿児島

令和6年11月
鹿児島県

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に担い手農家、中心経営体が増加し、農地集積が加速（1反区画から5反区画へ整備）
- 農地中間管理機構を利用することで農地の貸し借りが促進（地域集積協力金を活用）
- 水田の汎用化により、水稻の裏作が飛躍的に向上

基盤

ほ場整備・農道整備による営農活動の変化



整備前



整備後

- ほ場の大区画化と農道の整備により、新たな担い手の参入、機械の大型化など、地域の営農が変化



整備前



整備後

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県志布志市有明町

のいくらしたんだん
野井倉下段地区



- 主要作物
水稻、にんじん、ブロッコリー、きゃべつ
- 主な支援施策
 - ・経営体育成基盤整備事業（H20～H28）
 - ・農地耕作条件改善事業（H30～R2）
 - ・多面的機能支払交付金

生産現場

生産法人による高収益作物の生産

- 区画整理の実施後、生産法人が参入し、水稻の裏作としてにんじん、ばいれいしょの作付けがなされ大手メーカーへ出荷



地域の取組

特色を生かした地域づくり

- 遊休農地でそばの作付けを行い、収穫したそばで地域住民による「そば祭り」を開催し、地域のコミュニティの維持・強化を図っている



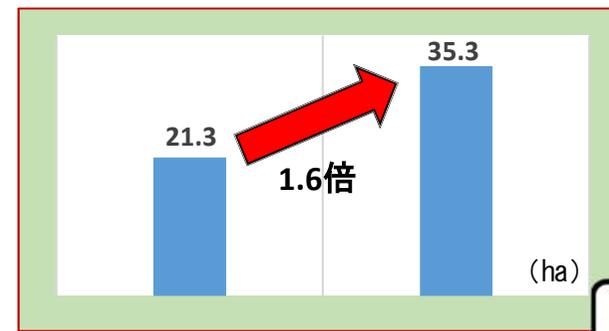
中間管理機構への参加

- 農地中間管理機構への貸付面積が増加



担い手への利用集積

- 担い手への農地の集約化が進展



【対策のポイント】

- 農地開発による農業者の大規模経営への転換
- 伊唐大橋建設による農産物流通経路の確保
- 伊唐島への唯一の陸上交通経路である伊唐大橋の長寿命化

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県出水郡長島町



- 主要作物
ばれいしょ、甘藷 等

- 主な支援施策
 - ・県営農地開発事業(S61~H9)
 - ・農免農道整備事業(S63~H8)
 - ・農道保全対策事業(H21~H24)
 - ・農村地域防災減災事業(H27~R4)
 - ・農地整備事業(通作・保全)(R4~R9)

基盤

農地開発による農業経営規模拡大と架橋による流通経路の確保

- 農地造成及び畑地かんがい施設の整備により、農業経営の規模拡大が図られ、労働時間も大幅に削減
- フェリーに頼っていた流通経路が、伊唐大橋の開通により、終日出荷及び時間短縮が図られ、経費が大幅に削減



基盤整備
(S61~H9)

【整備前】

生産基盤整備の遅れ、人口流出による高齢化、地理的、社会的な悪条件が重なり、農業生産性は極めて低い状況



加工・流通

ブランド化による高収益農業の実現

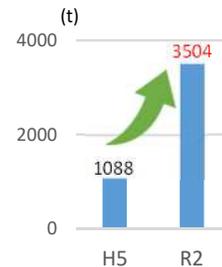
- 平成9年に「長島地区赤土ばれいしょ」としてかごしまブランド産地に指定され、鹿児島農林水産物認証も取得



生産現場

経営規模拡大による生産量の増加

- 耕地面積の増加や畑地かんがいの整備、生産流通の利便性も高まり、ばれいしょの生産量は、整備前の約3倍に増加



農業生産額の大幅な増加

- ブランド化や生産量の増加に伴い、農家所得の大幅な増加を実現
- 1戸当たりの農家所得は、整備前の9.6倍になり、令和2年には農業収入が2千万円を超える農家が誕生



将来を見据えた長寿命化対策

- 伊唐島を大きく変えた伊唐大橋と農業用施設の長寿命化を図るため、各種事業を実施

【対策のポイント】

- 下流に農地や住宅があり、堤体上部の市道洪水吐の断面不足や堤体からの漏水が確認され、堤体決壊により甚大な被害が発生する恐れ
- このため、堤体法面の改修補強や洪水吐の流下能力向上など、ため池を全面的に整備
- 整備により災害の未然防止、農業用水源の機能を回復

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県伊佐市



- 主要作物
水稲
- 主な支援施策
・農村地域防災減災事業(R2~R4)

ため池の改修・補強工事

- ・ 洪水吐の断面拡張とともに流末水路も拡張しつつ跳水等による浸食防止を実施
- ・ ブロックマット施工により堤体法面の浸食防止を実施



ため池整備
(R2~R4)

基盤

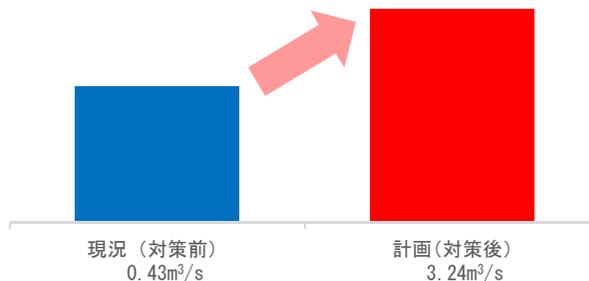
【整備前】

- ・ 洪水吐の老朽化が激しく流末水路も断面不足
- ・ 堤体からの漏水があり堤体法面の浸食が著しい状況



堤体の決壊防止及び水源としての機能回復

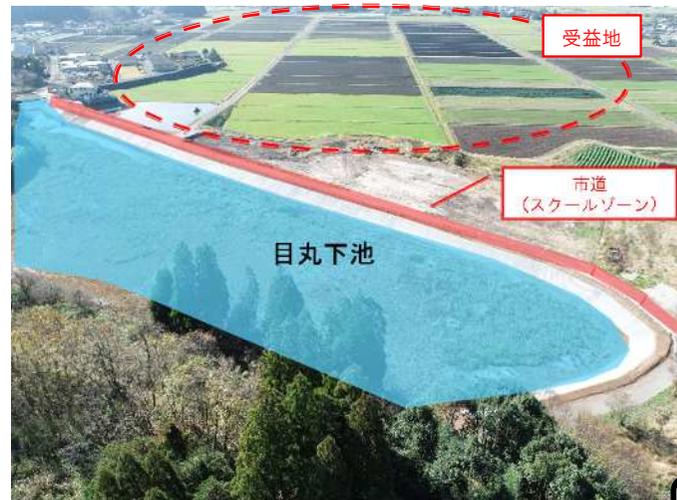
流下能力の大幅な向上



	想定被害額	想定湛水面積
改修前	1億3,500万円	31.7ha
改修後	被害なし	被害なし

対策の効果

- 法面等の改修補強により安定した農業用水源の機能回復
- 通学路である堤体上部の市道等への災害を未然に防止し、地域住民の安全を確保



基盤整備を契機とした農地集積と高収益作物の生産拡大

【鹿児島県大島郡和泊町, 知名町】

食料安全 保障 スマート 農業 グリーン 国土 強靱化

【工夫のポイント】

- 区画整理を契機とした農地中間管理事業の活用による担い手への農地の集積
- 国営地下ダムにより水源が確保され、畑かんの導入により安定した農業経営が実現し、水利用効果が高く高収益作物の生産が拡大
- 畑かん営農振興組織を立ち上げ、研修会や水利用ルール遵守のための地域振興活動を推進

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県大島郡和泊町, 知名町
- 
- 主要作物
さとうきび, ばれいしょ, さといも, 花き等
 - 主な支援施策
 - ・国営かんがい排水事業(H19~R7)
 - ・県営畑地帯総合整備事業(S56~R8)

基盤

農地集積による農作業の効率化や畑かん整備による安定した畑作営農(高収益作物の導入)が実現



基盤整備 (S56年~R8年)

不整形な圃場と天候頼みの不安定な農業経営



畑かみを契機とした地域振興活動

- 畑かん営農研修会や水利用ルール遵守のための検討会など地域振興活動を実施
-
- 水利用研修会 栽培講習会

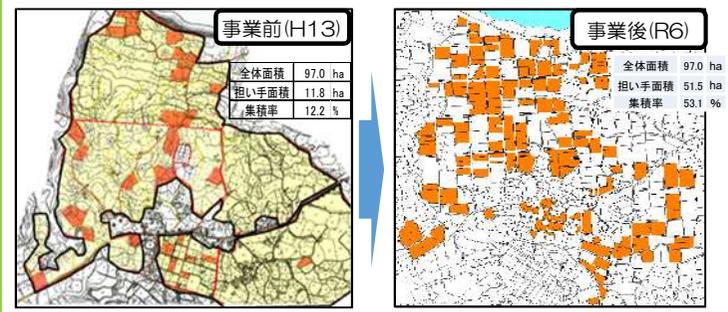
多面的機能支払交付金による地域保全

- 集落ぐるみで基盤整備区域の保全活動を推進
-
- 地域保全活動 景観形成活動

地域の取組

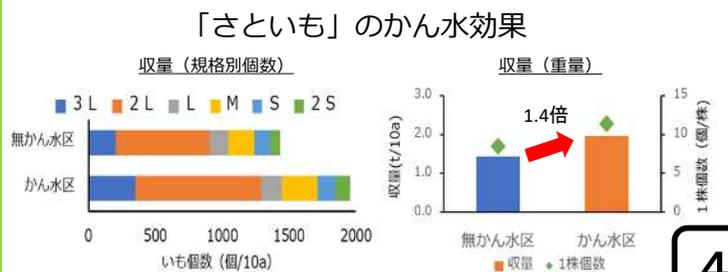
区画整理を契機とした担い手への農地集積

- 区画整理事業と農地中間管理事業の活用により、担い手への農地の集積が促進



対策の効果

- 畑かんの導入により水利用効果が高い高収益作物の収量が大きく増加



みどりほぞんかい

まえのはま水・土・里保存会

- 喜入前之浜町は、鹿児島市の南部に位置し、川上、川中、川下、鈴の4つの集落があり、面積は約12 km²と喜入地域内で最も広く、人口は令和4年度11月時点で1,120人である。
- 農業者の高齢化と減少に伴い、**農地の借り手の減少が予想される**ため、遊休農地が発生しないよう行政と連携を図りながら、当地域の有する多面的機能の維持・発揮に努める必要がある。
- 以前から多面的機能支払交付金事業の導入に向けて関係機関と協議を重ねてきたが、**事務処理の担い手に難航していた**。担い手が見つかったこと、民間企業の協力が得られたことにより、5年間の持続性を確保した組織を立ち上げることができた。

【地区概要】

- ・取組面積：200.8ha
(田 81.2ha)(畑 119.6ha)
- ・資源量：水路 64.0km, 農道 59.0km
- ・主な構成員：農業者, 非農業者,
前之浜小学校, 地元企業
- ・交付金：約1,140万円 (R4)
(内訳) 農地維持483万円
資源向上657万円 (長寿命化含)

活動開始前の状況や課題

- 過疎化、少子高齢化、担い手不足などにより、**農地が荒廃し**休耕田が増えたことで、イノシシなど害獣が農作物を荒らすようになってきた。主に受益者や鹿児島市が管理してきた水路や農道等の農業用施設の利用頻度の減少により**保全管理の低下**が課題となっていた。
- 少子化による**伝統芸能の踊り子の減少**で**継続が危惧**されていた。



【前之浜の棚田】

取組内容

【入念な設立準備】

- 公共施設「鹿児島市観光農業公園グリーンファーム」の**指定管理者が事務処理を担当し**、活動の持続性が確保されたことで、取組がスタート。



【点検活動】
農地, 農業用施設の点検を実施

- **【遊休農地の解消】**
構成員である地元企業の建設機械を活用した活動



取組の効果

- 組織設立によるメリット
 - ・農地までの道路沿いに生い茂っていた草木を伐採することができ、見通しが良くなったことで離合の際の危険性が低下した。
 - ・遊休農地を開墾することで、鳥獣害対策となり、さらに景観も良くなった。
 - ・「チョイのチョイ踊り」を、多面的機能の増進を図る活動に位置付けたことで、農村文化伝承の気運が高まり、世代間の伝承が期待される。

